

# ①知識・技能を習得すること、定着を図ることに重点を置いた授業展開例

～ 第5学年 「分数と整数のかけ算・わり算」～

## 本時の目標

分数×整数を計算する活動を通して、途中で約分できる計算のよさが分かり、能率的に計算することができる。

## 本時の展開（2／7）

段階	主な学習活動	指導と評価
必然	<p><b>問題1</b> <math>\frac{9}{8} \times 4</math> の計算のしかたを考えましょう。</p> <p>1 既習の内容と比較し、解決の見通しをもつ。            ・同じところは、分数×整数です。            ・ちがうところは、仮分数です。約分もできそうです。            ・前時と同じように、単位分数のいくつかで考えればよい。</p>	<p>【評価規準】            分数に整数をかける乗法の計算をすることができる。  <b>&lt;技能&gt;</b></p>
課題	<p>いろいろな分数×整数の計算ができるようになるろう。</p>	<p>児童の学習状況（B）</p>
追究	<p>2 2つの計算のしかたを全体で確かめ、比較する。【※1】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>㉞ <math>\frac{9}{8} \times 4 = \frac{9 \times 4}{8}</math>  <math>= \frac{36}{8}</math>  <math>= \frac{9}{2} = 4\frac{1}{2}</math></p> <p>最後に約分しています。</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>㉟ <math>\frac{9}{8} \times 4 = \frac{9 \times \cancel{4}^1}{\cancel{8}_2}</math>  <math>= \frac{9}{2}</math>  <math>= 4\frac{1}{2}</math></p> <p>計算の途中で約分しています。</p>  </div> </div> <p>途中で約分した方が、数が小さくなり、計算が簡単になります。</p> <p>3 ㉟の、途中で約分する方法で計算する。</p> <p>4 ① <math>\frac{7}{8} \times 6</math> ② <math>\frac{3}{10} \times 5</math> に取り組み、途中で約分できているかペアで確かめる。            ※ペアで順番を決めて、ノートを指しながら説明する。</p> <p>分数の計算では、とちゅうで約分すると計算が簡単になる。</p>	<p>【※1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>約分を用いた計算技能を身に付けさせたい。</li> <li>そこで、2つの考え方を提示し相違点を確認する場をはじめに位置付けることで、約分してから計算していくよさを確かめる。</li> <li>確かめの問題をペアで説明し合う場を位置付け、途中で約分する方法を身に付けさせる。</li> </ul>
振り返り	<p><b>問題2</b> <math>1\frac{3}{5} \times 4</math> の計算のしかたを考えましょう。</p> <p>5 2つの計算のしかたを確かめる。【※2】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>㊸ <math>1\frac{3}{5} \times 4 = \frac{8}{5} \times 4</math>  <math>= \frac{8 \times 4}{5}</math>  <math>= \frac{32}{5}</math>  <math>= 6\frac{2}{5}</math></p> <p>帯分数を仮分数になおして計算します。</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>㊹ <math>1\frac{3}{5} \times 4 = 1 \times 4 + \frac{3}{5} \times 4</math>  <math>= 4 + \frac{12}{5}</math>  <math>= 4\frac{12}{5}</math>  <math>= 6\frac{2}{5}</math></p> <p>帯分数を整数部分と分数部分に分けます。全体を4倍するので、それぞれに4をかけて合ませます。</p>  </div> </div> <p>6 <math>1\frac{2}{3} \times 7</math> に取り組み、ペアで説明し合う。</p> <p>※1人が㊸、もう一方が㊹で取り組む。            （一方の説明が終わったペアは、もう一つの方法で取り組む。）</p> <p>7 分数×整数の計算練習を行う。</p> <p>① <math>\frac{5}{6} \times 4</math>    ② <math>\frac{4}{3} \times 9</math>    ③ <math>2\frac{3}{8} \times 4</math>    ④ <math>2\frac{1}{4} \times 6</math>    ⑤ <math>1\frac{4}{5} \times 10</math></p>	<p>【※2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>帯分数×整数では、約分の場所だけでなく、計算方法そのものに違いがあることに気付かせたい。</li> <li>そこで、ここでも2つを提示し、どちらがよいかではなく、「どうやっているのか」に着目させる。</li> <li>どちらの方法とも理解が図れるよう、方法を変えて説明する場を位置付ける。</li> </ul> <p>①②は先に約分していることを、③④⑤はいずれかの方法で正しく計算できているかをみとどけ、価値付ける。</p>